

中川村新しい学校新聞

第2号 / 2025.11.14

発行元 / 中川村教育委員会

企画編集 / 学校をともにつくる会

中川村が目指す
子どもの姿とは？

強み
仲がよい
優しい 純粋い
よい子 素直
明るい
地域への愛ちやく
あいさつ

弱み
打ちぬ弱い
自信がない
人間関係の固定化
競争心がない
奥ゆかしい



これから迎えるブーカ(VUCA)の時代を生きる子ども達に向けた、中川村の教育方針がみえてきました。それが「自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む」という目標を軸に教育を進めていくことです。

令和4年、村内在住者1000名を対象に小中学校のあり方に関するアンケートを行った結果503票の回答から中川村の子ども達の「強み」「弱み」が見えてきました。この「強み」を伸ばし、「弱み」を克服していく先に、こ

時代の変化
グローバル化

ブーカの時代

みずか かんが はんだん こうどう
「自ら考え、判断し、行動して、
人生を開拓する力を育む」
じんせい かいたく ちから はぐく

※教育委員会三銃士

ブーカ(VUCA)の時代って何？

そもそも、ブーカの時代って何だと思いませんか？それは、世界が「わかりにくくて、変わりやすい」ことをあらわす言葉です。そして、それぞれの文字には意味があります。

V(ヴァイ)＝変わりやすい
U(ユー)＝はつきりしない・よくわからない
C(シー)＝むずかしい
A(エイ)＝正しい答えがわからない・どうなるか予想できない

AIの登場、感染症の流行、予測が困難で難しいことが突然に起こる、いま、私たちが住む世界は「わかりにくくて、変わりやすい」ブーカの時代なのです。

村長との懇談
みやした たけひこ
(中川村村長)と編集部

村長の学校の思い出を教えてください。というお約束の質問に「小学校、覚えていないな、バラ色では無かったよ。」なんて淡い答えが返ってきたものの、2

時間ものの懇談の終わりに、流水で作ったイカダに乗り天竜川で死にかけた楽しい冒険談、毛鉤の釣りに今も昔も夢中な話、ジャズが大好きだということ、いろいろと聞くことができました。

そんな話の中でもちよつと顔が曇ってしまう話題は、物価高騰による新しい学校建設の資金問題。「誰もが懸念するその事実、夢だけを広げるのでは無く、現実も見据え予算の中で工夫は必要でしょう。そして大切なことは、学校建設とともに作られる学校の理念です。学校は芽生えを伸ばす場であり、将来への地盤を作る場所であるべきです。その為に小学校から専科の先生の導入、先

生も児童生徒も得意を伸ばせる環境作りが大切であり、村費を導入する準備はできています。」建設資金という課題はあるものの、頼もしい発言でしめくくられる素敵な懇談でした。



私の学校の思い出
インタビュー第二回
かとうなおゆき
(南向診療所院長)



小中学校は人格形成において一番大切な時期なので、新しい学校は、地域愛を育めるような楽しい思い出がつくれる場所であって欲しいですね。
※完全版は中川村ホームページにてご覧いただけます。

編集後記

多くの方のご参加・ご協力で第2号も発行することができました。今後も多くの方に参加いただき、ともに学校をつくっていききたいと思っています。

「意見、ご感想ありましたら公式インスタグラム、もしくは備え付けのお便りポストにお送りください。」



学校をともにつくる会
公式 Instagram

